

9 月 27 日：株式市場は続落 売り圧力は減少

昨日の株式市場は続落したが、売り圧力が減少したことで下落幅は抑えられた。

ホーチミン市場では VN 指数が-0.67%の 1,166.54 ポイントとなり、昨日からの下落幅が 3%を超えた。流動性も大幅に減少した。月曜日の水準から売買代金が 40%、出来高が 38%下落し、火曜日は 10.6 兆ドン（4 億 4,490 万ドル）相当の 4 億 6,660 万株が取引された。

マーケットは軟調な動きであり、266 銘柄が下落した一方で上昇したのは 183 銘柄に留まった。ビンググループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）、ペトロベトナムガス（GAS）が最も相場を引き下げた 3 銘柄である。VHM は-3.2%、VIC と GAS もそれぞれ-1.8%、-1.9%を記録し、この 3 銘柄の下落により VN 指数は 3 ポイント落とした。

他の主要な下落銘柄としてはビナミルク（VNM）の-2.2%、ベトコムバンク（VCB）の-0.9%、ドゥックザン化学（DGC）の-4.9%、モバイルワールドインベストメント（MWG）の-1.3%、FPT（FPT）の-1.2%などが挙げられる。

その一方で証券・銀行セクターは小幅に回復を見せ、各セクターで+0.3%となり投資家心理の改善に貢献した。

ミリタリーバンク（MBB）、BIDV(BID)、テクコムバンク（TCB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、SSI 証券（SSI）、ホーチミン市証券（HCM）、FPT 証券（FTS）がそれぞれ 1%未満の小幅高を記録した。

ベトドラゴン証券の Phuong Pham 氏は「VN 指数が以前の底値である 1,160 ポイント付近まで深く下げ、底値での買いが活発となったが、そのポジティブなサインは長く続かなかった。しかし、その買いは特定の銘柄や業界に集中している。」と述べている。

「売り圧力は VN 指数と VN30 指数の両方が強い上値である 1,200 ポイント付近まで上昇したときに再度強くなる可能性がある。潜在的な更なる下落リスクに備え、投資家は次の行動を起こすために必要な信頼できる回復の兆しが表れるのを待つべきだ。その

一方で短期の上昇基調を捉えるために現金資産割合を増やし、安全なポートフォリオの構築に努めるべきである。」（同氏）

ハノイ市場では HNX 指数は-0.06%の 255.52 ポイントとなった。同指数は前日-3.3%を記録していた。流動性はほぼ半分となり、1 兆ドン相当の 4,900 万株が取引された。

外国人投資家は両市場で売り越し、合計で 4,010 億ドンの売り越し額となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。